

令和6年度 認知症地域支援推進員の活動実績

認知症地域支援推進員とは

国が、2025年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、平成 27 年度に策定した「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)の総合的な推進役として位置づけられ、平成 30 年度から全国のすべての市町村に配置されました。

《国の示す認知症地域支援推進員の基本的な役割》

- I 医療・介護等の支援ネットワークの構築
- II 関係機関と連携した事業の企画・調整
- III 相談支援・支援体制の構築

川越市では、年4回の対面による認知症地域支援推進員会議を開催し、認知症にかかる各種事業の検討や見直し、事例や情報共有を図っています。

1 配置人数（令和7年3月末時点）

地域包括支援センター	23名
地域包括ケア推進課	8名（うち福祉相談センター5名）
合計	31名

川越市では、平成28年度から地域包括ケア推進課に配置し、令和 2 年度からは各地域包括支援センターにも 1 名以上配置しています。

2 認知症地域支援推進員会議の開催

認知症地域支援推進員間の情報共有や事業の検討等、連携を図るため、令和6年度は会議を4回開催しました。

	日時	会場	主な議事・報告事項
第1回	令和6年 5月23日(木)	川越市北公民館 会議室1・2号	<ul style="list-style-type: none"> □ 第9期川越市介護保険事業計画 認知症施策について □ 認知症推進員の活動について □ 認知症サポーターステップアップ講座修了証について □ 認知症予防教室のテキストの改定について □ 本人ミーティングについて
第2回	令和6年 8月22日(木)	川越市北公民館 会議室1・2号	<ul style="list-style-type: none"> □ 認知症予防教室、認知症サポーターステップアップ講座のテキスト改定について □ アルツハイマーデーの取組について □ 本人ミーティングについて □ 認知症相談会について □ グループワーク —安心して買い物をするために必要な取組とは—
第3回	令和6年 11月28日(水)	川越市北公民館 会議室1・2号	<ul style="list-style-type: none"> □ アルツハイマーデーの取組について □ 本人ミーティングについて □ 前回のグループワーク(買い物支援)を受けての報告 □ 認知症ケアパスについて □ グループワーク —認知症ケアパスについて①—
第4回	令和7年 2月27日(木)	川越市北公民館 会議室1・2号	<ul style="list-style-type: none"> □ 来年度の日程について □ 認知症予防教室、認知症サポーター養成講座のテキストについて □ 担当圏域ケア会議での取組報告 □ グループワーク —認知症ケアパスについて②—

3 主な取組内容

国が示している推進員の主な役割「Ⅰ～Ⅲ」を取組の柱として活動を行いました。

Ⅰ 医療・介護等の支援ネットワークの構築

川越市お帰り安心ステッカー周知ポスターの掲示依頼と配布

市民への普及啓発のため、配布先の検討を行い、市内医療機関や銀行、郵便局、民間商業施設（スーパー、コンビニ、ドラッグストア）等へ周知ポスターの掲示依頼と配布を行いました。また、コミュニティケアネットワークかわごえに協力いただき、賛同事業所へ配布しました。

- 依頼先店舗 計 595件
- ポスター配布枚数 計1,054枚



川越市お帰り安心ステッカーにより、身元が判明した事例(令和6年度)

- 地域住民から道に迷っている人がいると警察へ通報。警察が現場に到着し、ステッカーを貼っていることに気づき、ステッカー番号から連絡先が判明。家族の元へ無事に帰ることができた。
- 本人が「道に迷った」と交番に立ち寄る。ステッカー対象者だったため、登録された情報を元に、家族と連絡を取ることができた。

Ⅱ 関係機関と連携した事業の企画・調整

本人ミーティングの開催

令和3年度に開催した「本人ミーティング～当事者の思いを聴く～」の振り返りを行い、認知症の当事者同士が話を共有できる場所の大切さを改めて実感したことから、令和4年度より認知症地域支援推進員を中心に本人ミーティングを定期的で開催しています。

- 参加者 実人数：9名(延人数：45名)、60代～90代

	日時	会場	主な話題
第1回	令和6年4月11日(木) 午前10時30分～11時30分	子育て安心施設 「すくすくかわごえ」多目的室 (以下、すくすくと表記)	「(初参加の方が)参加者に聞きたいこと」
第2回	令和6年5月9日(木) 午前10時30分～11時30分	すくすく	「診断された時と現在の気持ち」、「どのような支援があったらよかったのか」

第3回	令和6年6月13日(木) 午前10時30分～11時30分	すくすく	「診断された時の気持ち」
第4回	令和6年7月11日(木) 午前10時30分～11時30分	すくすく	「不安な気持ちについて」
第5回	令和6年9月12日(木) 午前10時30分～11時30分	すくすく	「不安な気持ちについて」
第6回	令和6年10月10日(木) 午前10時30分～11時30分	すくすく	「不安に対する支援」
第7回	令和6年11月6日(木) 午前10時30分～11時30分	高階公民館 講座室1	「今までの経過」、「今の生活で工夫していること」
第8回	令和6年11月14日(木) 午前10時30分～11時30分	すくすく	「今楽しんでいること」、「不安について」
第9回	令和6年12月12日(木) 午前10時30分～11時30分	すくすく	「買い物時の困りごとや工夫」
第10回	令和6年12月18日(木) 午前10時30分～11時30分	伊勢原公民館 会議室	「今までの経過」、「不安な気持ち」
第11回	令和7年1月9日(木) 午前10時30分～11時30分	すくすく	「今の生活で工夫していること」、「認知症に対する周囲の方の理解について」
第12回	令和7年3月13日(木) 午前10時30分～11時30分	すくすく	「暮らしの中での不自由と工夫について」

認知症の本人からの言葉(一部)

- ❑ これからどうなるのか、この病気がどういうものなのかがわからず、不安。まだ新人なんだけど、非常に不安です。
- ❑ この年になったら、かっこついたりできませんから。思い切ってやるといいですよ。
- ❑ 記憶力がなくて、友達と話していると見栄が強いものだから、知っているふりをする。その息苦しさに疲れちゃう。友達には「記憶力がなくてわからないんだよ」って言っているけど理解してもらえないんです。
- ❑ ここで話をすると、他にも同じ人がいるんだなと思ったり、人によってずいぶん違うんだな、とも思います。
- ❑ 同じように記憶力で困っている人がいて、そういう人たちを話したのは初めてでした。わたしだけじゃないんだって思いでした。
- ❑ 身近な所で同じような境遇の方が集まってお話をしたり、その中で話しやすい近い間柄だからこそ「不安」を話しやすいです。
- ❑ 社会全体で、地域全体で認知症の人の支え方を見つけていかなきゃいけないんだろうなと思います。皆さんが認知症のことを理解してわかってくださる。それはとっても大事なことだと思います。

9月21日世界アルツハイマーデーにおける認知症普及啓発パネルの展示

① パネル展示

認知症に対する理解の促進を図るため、パネル展示を実施しました。併せて、認知症に係る各種チラシも市民が自由に取得できるよう設置し、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行いました。

- ❑ 場所 川越市民サービスステーション(U PLACE3階)
- ❑ 期間 令和6年9月13日(金)～27日(金)



② パンフレット配布

認知症の人と家族の会と連携し、世界アルツハイマーデー(9月21日)に関するパンフレットを配布し、普及啓発を行いました。

- ❑ 場所 川越駅西口及び東口デッキ
- ❑ 日時 令和6年9月21日(土) 11時～12時



③ 市立図書館での周知実施

川越駅東口図書館において、認知症に関するコーナーを常設し、認知症の本の展示および認知症に関する市の取組などの周知を行いました。



④市立川越高等学校での周知

市立川越高等学校から提案があり、アルツハイマー月間に合わせ、高校の昇降口において認知症に関するコーナーを設置し、認知症の本の展示および認知症に関する市の取組などの周知を行いました。

□ 期間 令和6年9月13日(金)～30日(月)



参考：地域包括支援センターみなみでの取組

アルツハイマー月間に合わせ、福原公民館において認知症に関するコーナーを設置し、認知症に関するパネルや本および地域の方々が作成したマスコット等の展示を行い、普及啓発を行いました。

□ 期間 令和6年9月10日(火)～30日(月)



各事業の実施に向けた検討(主な事業)

下記の主な事業については、認知症地域支援推進員会議において検討を行いました。

① 認知症サポーターステップアップ講座(チームオレンジ)

認知症サポーターステップアップ講座とは、認知症サポーターがチームオレンジとして活動するために受講する講座です。令和6年度は、認知症サポーターステップアップ講座を3回実施し、これまでで合計7つのチームオレンジが立ち上がりました。

また、認知症サポーターステップアップ講座のテキストについて、全体の構成を見直しました。

② 本人ミーティング

より身近な場所で開催できるよう開催場所について検討を行い、令和6年度は、子育て安心施設「すくすくかわごえ」に加え、高階公民館と伊勢原公民館でも開催しました。

③ 認知症の方への買い物支援

セルフレジの普及など ICT 化が進むことで、認知症の方が買い物に困っているという声を受け、令和6年度は、認知症の方とその家族の困りごとについて共有を行いました。

④ 認知症ケアパス^{※1}

認知症の方やその家族にとってより活用してもらえるよう改善点や課題について共有しました。

※1 認知症ケアパスとは

認知症の方やその家族が「いつ」「どこで」「どのような」医療や介護サービス、相談窓口、認受診先などをまとめ、認知症の状態に応じたサービス提供の流れを見える化したもの。

国は、全市町村で認知症ケアパスを作成されることを目標に掲げている。

Ⅲ 相談支援・支援体制の構築

認知症の人や家族への相談支援

①認知症に関する相談対応

- | | |
|-------------|--------------------|
| ・福祉相談センター | 1,449件(相談受案件数) |
| ・地域包括支援センター | 12,089件(相談受理・対応件数) |

②認知症ケア専門相談事業との連携した相談支援

- | | |
|--------------|-----------|
| ・医師による認知症相談会 | 計30組(11回) |
| ・認知症ケア専門相談会 | 計21組(12回) |